

その時を夢見る

1965年に真のお父様が清平の地に足を踏み入れられました。当然修練苑まで行く道はありません。当時は船を使って行きました。そして未来の事を考え聖地として決められました。誰も関心を持っていない土地です。その時からここに大きな宮殿が立ち、高速道路が開通し130国家の民族村ができて多くの民族が集うようになると語られています。1970年代初期の頃です。当時は信じられないような内容でありました。この話は何度もされましたが、すぐには変化があったわけではありません。1995年から大母様の役事が始まり、そこから変化が始まりました。テントの時代から天聖王臨宮殿ができ、天聖宮、青少年センター、清心ビレッジが出来ました。病院も出来ました。ワールドセンターも出来ました。その間に高速道路も出来ました。今は清平湖に橋をかけているので一直線で修練苑に来ることが出来るようになるのです。さらに雪岳に30万の街が出来るというのです。

クリスチャンの人口が20億とされています。一度は言いたみたい聖地はエルサレムです。エルサレムに住んでいるクリスチャンは少ないのですが、イエス様のゆかりの地にはいたるところに立派な教会が立っています。しかし遺品は残っていません。

真のお父様の遺品は天聖宮に集められています。また真のお父様が聖和された病院も清平にあります。また本郷苑もそこにあるのです。のちに真のお父様のゆかりを求めて訪ねてくる時がきます。遠くない将来に南北統一の時がきます。南北統一の門を開いてくださった真のお父様のこのゆかりの聖地に多くの方が訪ねてくるのです。

40年間で言われた内容が現実になろうとしています。100年後はどうなるのでしょうか？確実に変わっているのです。神が共にするのであれば変わっているはずです。今の苦勞が必ず栄光になります。歴史と共に歩むこと、世界は記憶する事でしょう。一番世界に平和をもたらした方は誰だったのか、その存在が分かるようになるでしょう。真の父母様のみ言は必ず成し遂げられます。万民が真の父母様に待る日を夢見ながら共に頑張っていきたいと思えます。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2. 真のお父様聖和三周年に向けての150日伝道路程

来る8月30日は「真のお父様聖和三周年」を迎えます。聖和三周年までの150日期間(2015年4月1日～8月28日)、真の御父母様の生涯路程の勝利を相続し神氏族メシヤとして、全祝福家庭が絶対信仰で真の父母様と一つになり、死生決断、実践躬行で必ず勝利して行きましょう。

目標:1家庭祝福、礼拝参加
期間:第1次 4/1～5/20 第2次 5/21～7/9 第3次 7/10～8/28

- 3. 1000日侍墓(シミヨ) 生活同参

期間:3月26日(木)～6月3日(水)
訓読条件:天一国経典

- 4. 東埼玉教区6月度出発式

日時:6月3日(水)10:30～
場所:浦和教会

- 5. 清心神学大学院、2015年度後期 新入生募集のご案内

詳細は、以下の「募集要綱」を記したページからご確認下さい。
<http://www.cheongshim.ac.kr/admission/masterjp.asp>
願書受付期間は6/1～15 18時までとなっています。

- 6. 2015年度圓母平愛グローバル奨学生プログラム第二期募集案内

2015年9月～2016年8月:韓国語教育院課程
2016年9月～2020年6月:鮮文大専攻
募集期間:韓国語教育課程及び学士課程は1月と7月に募集



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長:李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：

司会者：伊東哲也

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 37番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	中村敏樹
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	真のお父様聖和1000 日記念礼拝	
※聖	歌と献金 聖歌 46番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

数多くの人類が願うその本郷の地はどこなのでしょう。これが今まで人類が探し求めてきた希望の基点です。もし韓国が世界人が願う本郷の国であり、韓国の地が世界人が願う本郷の地ならば、この韓国という国は極めて幸福な国になるでしょう。また、その国の中でどのような地点がそのような所かといえば、その地点はその国で一番貴い所でしょう。

先生が日本に行ったときに日本の食口達に言いましたが、もし、韓国が世界が慕うそのような本郷の国ならば、いま白頭山の頂にある土地でも日本の銀座のどの土地よりも高くなる時が来るでしょう。なぜですか。今全世界の十億に近いキリスト教信徒たちが今後、主が来られる本郷を恋しがっているからには、もしそのような所が現れたと全世界に知らせれば、瞬間に十億に近いキリスト教信徒たちが何としてもこの国を訪ねてくるでしょう。また、訪ねてきてただそのまま行くのではなくて、必ずこの韓国の地で位置をつかんで幸福に暮らそうとするでしょう。この小さな土地にキリスト教徒だけで十億に近い人々が訪ねてくるとすれば、ここでは大きな問題が起きることでしょう。

— 神様の摂理から見た南北統一 —

統一運動

28日、ラスベガス国際平和教育院(IPEC) 奉獻式開催

世界平和統一家庭連合は28日午前(現地時間)、米国ネバダ州ラスベガスで韓鶴子総裁、文善進家庭連合世界会長、家庭連合特命総司、大陸会長、米国全土の指導者など700人余り参席者が集まった中に国際平和教育院(International Peace Education Center: IPEC) 奉獻式を開催したと明らかにした。この韓鶴子総裁“お父様は大きい夢を抱いてこのラスベガスに会館を建立して全世界人類を抱いて教育しようとした”と話された。

文鮮明・韓鶴子総裁はアメリカ国内統一運動はもちろん全世界に統一原理と統一運動の平和教育を指導する、中核的な役目を任せるためにIPECを建立した。去る2011年メックカレン国際空港隣近2万4280㎡(約7340坪)規模の大地を敷地で選定した後、2012年4月18日既存建物の撤去から始まり、着工して3年余りに、最近完成した。文総裁は去る2012年9月聖和するまで“罪悪の都市と呼ばれるラスベガスを輝く都市、太陽のような明るい都市に作らなければならない”と力説した。毎年全世界で約5000万人が尋ねて来る国際観光都市と同時に全世界留学生4万多名余が在学中のラスベガス大学を保有したこちらで全世界人を教育、彼らがまた自分の国に帰って平和活動を広げさせたらもっと短い時間の内に恒久的な世界平和を成すことができるかと判断した。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開